



写真で見る第20回学会大会

日本災害情報学会は、第20回という節目の学会大会を、日本災害復興学会との合同大会（実行委員長：加藤孝明 東京大学生産技術研究所准教授）という形で、平成30年10月26日～28日に東京大学本郷キャンパスにおいて開催しました。今回の大会は4年ぶりの合同大会ということ、また直近に多くの自然災害が発生していたこと、多くの会員がいる東京で開催されたことなどがあって、忙しいさなかであるにも関わらず、のべ650名もの方に会場に足を運んでいただき、いつも以上に幅広い分野の討論が、いつも以上の熱気をもって活発に行われました。

10月26日（金）

13:30-17:00

合同大会記念シンポジウム〔安田講堂〕

10月27日（土）

09:00

受付開始〔法学政治学総合教育棟401教室（模擬法廷教室）〕

09:30-12:00

（情報）口頭発表（セッション1・2）〔2日目A・B・C会場〕

（復興）分科会I・III〔分科会第1・2会場〕

12:30-14:00

ポスターセッション〔ポスター会場〕

14:00-16:30

（情報）総会・廣井賞授与式・記念講演〔文学部大教室〕

（復興）分科会II・IV〔分科会第1・2会場〕

16:30-18:30

（情報）実行委員会緊急企画〔文学部大教室〕

16:45-18:15

（復興）全体会議〔分科会第1会場〕

18:30-20:00

交流会〔本郷キャンパス内 生協中央食堂〕

10月28日（日）

09:00

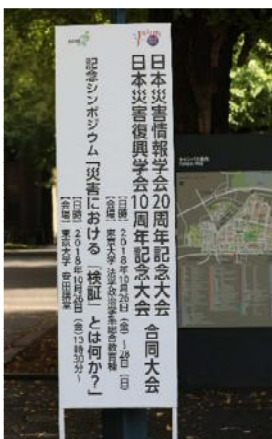
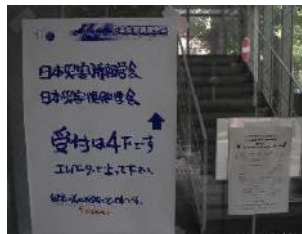
受付開始〔法学政治学総合教育棟401教室（模擬法廷教室）〕

09:30-12:00

口頭発表（セッション3・4）〔3日目A・B・C・D会場〕

13:00-15:45

口頭発表（セッション5・6）〔3日目A・B・C・D会場〕

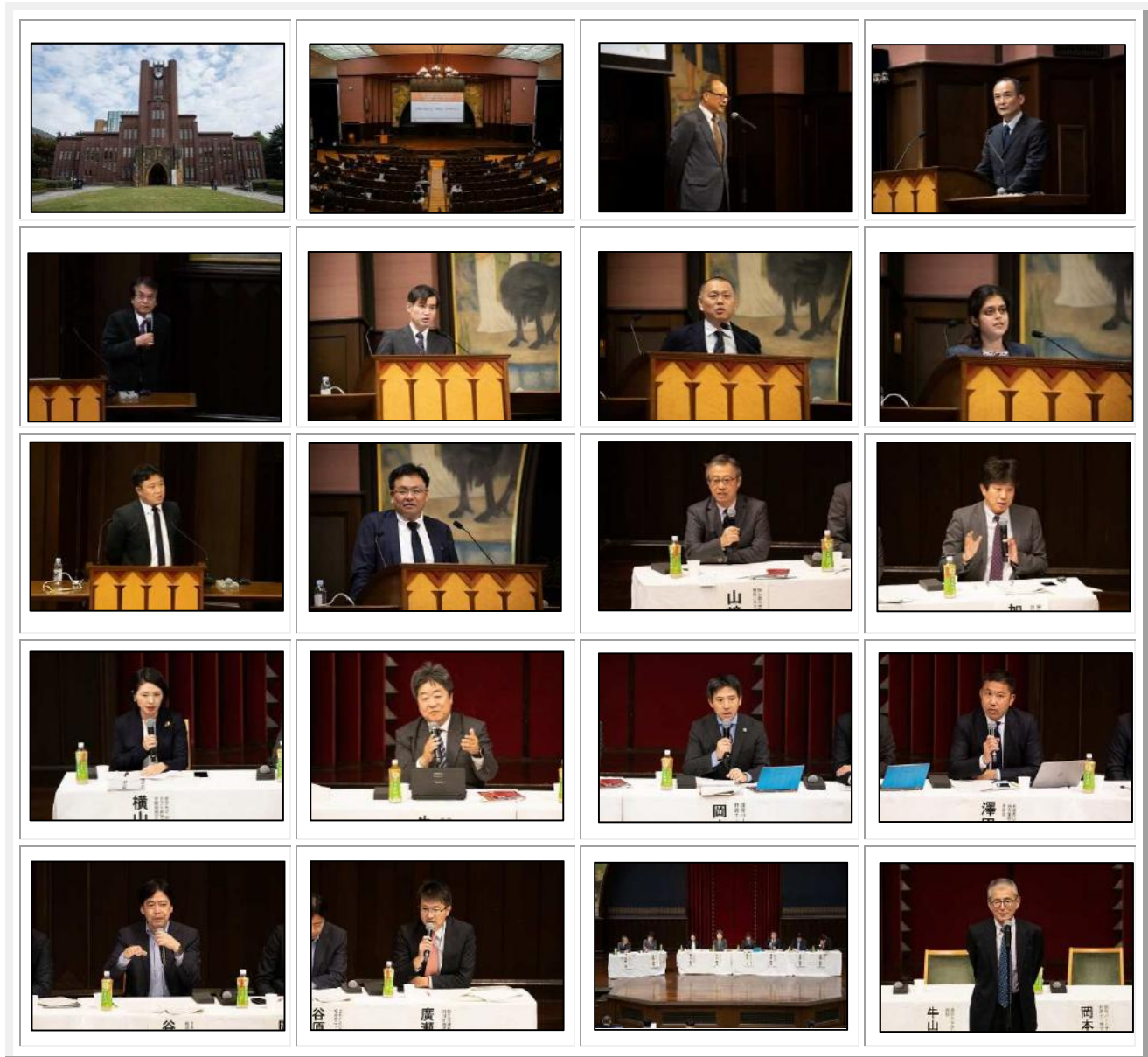


写真で見る第20回学会大会

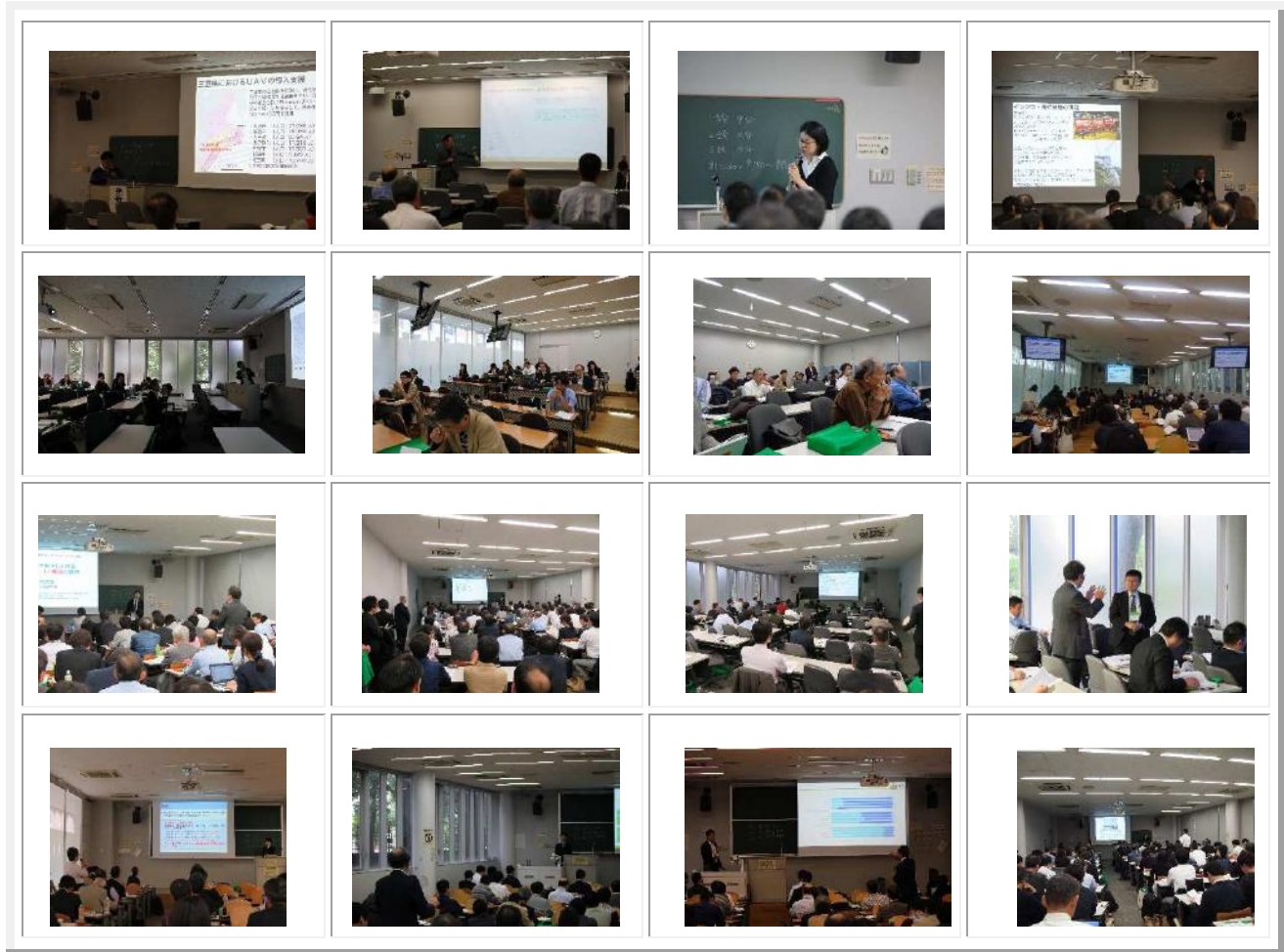


公開シンポジウム 『災害における「検証」とは何か?』

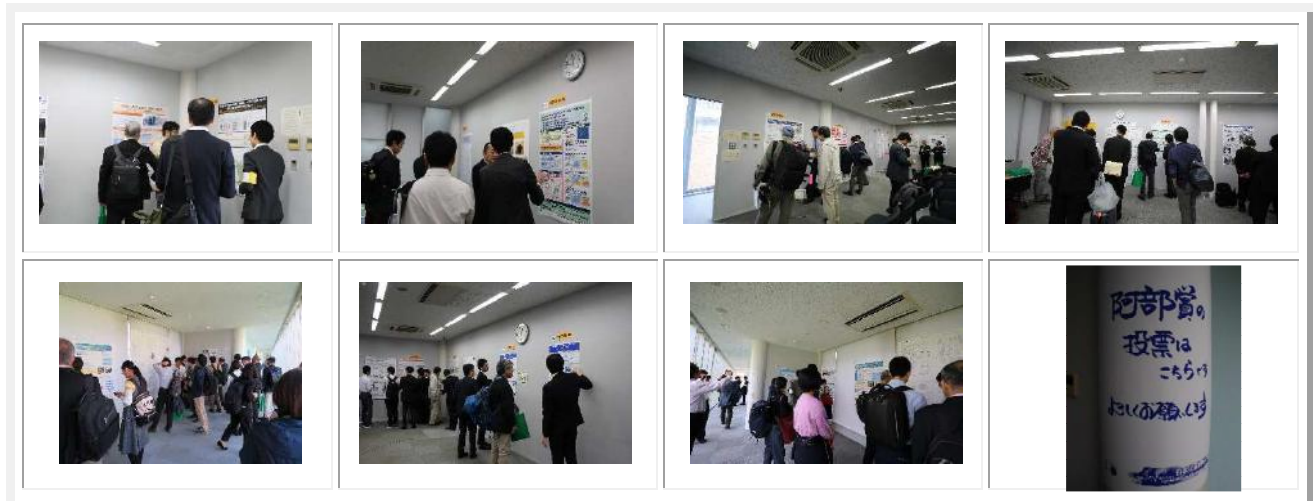
将来の災害による被害を軽減するという観点から、過去に行われた災害の検証事例を共有しつつ、災害以外の分野の「検証」に関する知見や、海外における事例を踏まえながら、災害における「検証」をどう活かすかについて多角的に議論しました。



□頭発表



ポスターセッション

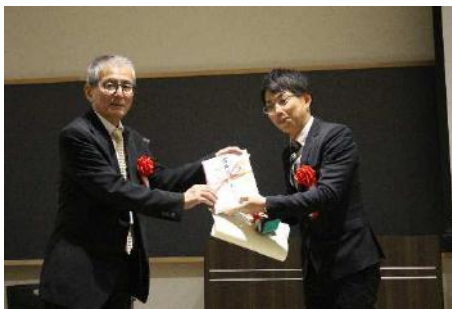


廣井賞授賞式・記念講演

日本災害情報学会は 2006 年、初代会長の故廣井脩氏（東京大学大学院教授）の志を後世に伝えるため廣井賞を創設し、災害情報の分野で功績のあった個人・団体を表彰しています。第 20 回学会大会においても 12 回目となる授与式を 10 月 27 日に行いました。

今年荣誉に輝いたのは下記の社会的功績分野 2 団体と学術的功績分野 2 名の 4 件です。

分野	受賞者	対象功績
社会的功績 (団体)	(一社)日本損害保険協会	<p>「『ぼうさい探検隊』を活用した実践的な安全教育」</p> <p>永年にわたり、全国で「ぼうさい探検隊」を活用した実践的な安全教育を展開し、子供たちが楽しみながらまちを探検し、身の回りの安全・安心を考えマップにして発表することで、子供たちや市民の防災・減災意識の向上を図った。本取組は、全国的に地域の継続的なプログラムとして根付いており、今後の更なる展開も期待される。</p>
	関西大学社会安全学部 防災情報研究室	<p>「ローカルメディアを駆使した地域防災活動支援、学校教育支援」</p> <p>ローカルメディア等を駆使した地域防災活動支援、学校防災教育活動支援を全国各地で展開し、CATV、コミュニティFMなどラジオ放送、小学校の校内放送、インスタグラム、限界集落での瓦版と実に多様なメディアを活用し、各フィールドにおいて、防災意識の向上や復興支援の交流促進に着実に成果を生み出した。</p>
学術的功績 (個人)	金井昌信 氏 群馬大学大学院理工学府 環境創生部門	<p>内発的な避難行動の規定因としての防災意識やハザードマップの再評価、防災教育の成果の評価方法について従来の考えとは異なる独自の視点や知見を多数提供するなど、実践的な災害情報研究を進め、それらの研究成果を、本学会『災害情報』に長年にわたって論文を報告された。</p>
	秦康範 氏 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター	<p>地域の防災・減災の取り組みへのビッグデータの活用、効果的な図上訓練のあり方、広域災害時における情報共有と広域連携方策など防災実務に資する研究を続け、それらの研究成果を自治体の防災体制や学校教育の現場で活かしていることが各方面からも評価された。</p>



阿部賞・河田賞

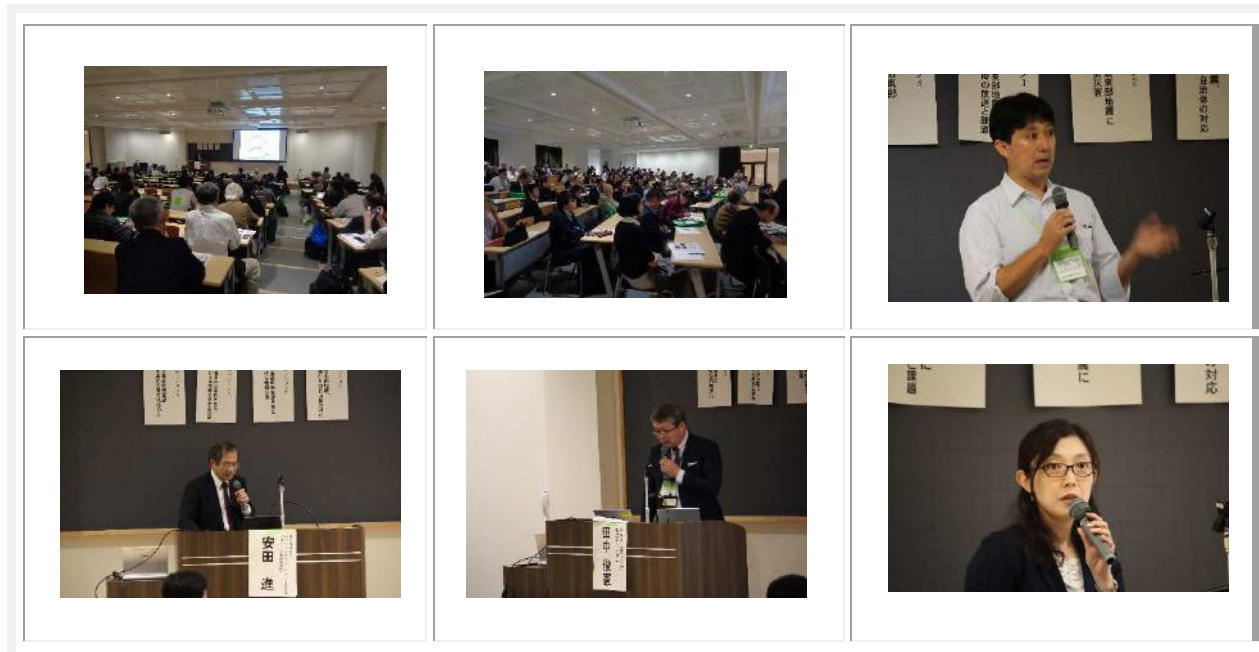
日本災害情報学会は 2014 年、若手会員の奨励を目的に、学会大会での優秀発表に対して、ポスター発表部門には阿部賞、口頭発表部門には河田賞を創設しました（両賞は、元会長の故阿部勝征氏（東京大学名誉教授）及び河田恵昭氏（京都大学名誉教授）の名を冠したものの）。

今年の実賞者は下記の 5 名です。なお、安本さんは初のダブル受賞となりました。

分野	受賞者	表彰発表タイトル
阿部賞 (優秀若手ポスター賞)	佐藤翔輔さん (東北大学災害科学国際研究所)	「全国統一防災模試」による防災意識の啓発と国民の災害対応知識の見える化:地震災害編
	安本真也さん (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)	「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応 —静岡市と高知市の地区比較より—
河田賞 (優秀若手発表賞)	廣井慧さん (名古屋大学大学院工学研究科)	GPS データを利用した平成 30 年 7 月豪雨時の移動状況分析と道路状況把握の基礎的検討
	水野一成さん (NTTドコモ モバイル社会研究所)	高齢者が災害時に利活用するスマートフォンの防災系アプリの可能性
	安本真也さん (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)	「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応 —避難に対する意識に着目して—

実行委員会緊急企画

今回の学会大会は合同大会ということもあり、災害復興学会と災害情報学会の合同プログラムもあれば、それぞれ個別のプログラムもありました。災害情報学会の個別プログラムとして総会・廣井賞授与式等に加え、実行委員会緊急企画と銘打って、大会発表申し込み締め切り後に発生している北海道胆振東部地震等の災害事例に関する報告を 4 名の方にして頂きました。



懇親会

